

学習内容報告書 フォーマット

学校名	那智勝浦町立下里小学校
授業者	金澤 有史（第5学年）、山本 景子（第6学年）

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「シュノーケリング体験学習 ～珊瑚の海をのぞいてみよう！～」

1-2. 学年

第5学年，第6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

海の時間、総合的な学習、国語科

1-4. 単元の概要

本州最南端、串本町でシュノーケリングの体験学習を行う。体験学習によって黒潮がもたらす自然環境への影響について学習し、生態系が様々な要因によって形成されていることに気づく。シュノーケリング体験学習はダイビングセンターに児童の指導を依頼した。

インストラクターから串本の海の特異性についてレクチャーを受け、その価値や希少性について学習する。マリンレジャーとして成立しているシュノーケリングやダイビングについて実体験することで地域の産業を知る機会とする。

シュノーケリングの技法を学ぶと同時に安全への配慮が必要な学習から、児童一人一人が日常生活では得られない達成感を感じる体験とする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海を見つめ直す意識と態度を育むために、黒潮がもたらす豊かな自然環境を活用することで大きな教育効果が期待できると考えた。

また、海洋教育を通じて海洋の多様な魅力に触れることで、体験したことを他者に伝える意欲を高め、自らの体験をより適切に伝えるための表現力を育むことができると考えた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

豊かな自然に触れることで海洋への親近感や環境保全の意識を育む。また、自ら環境保全のためにできることを考え、主体的に行動できる力を身につけてほしい。

1-7. 単元の展開（全 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>串本の海で見られる海洋生物を調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用して串本の海の海洋生物について調べ学習を行う。 判別に調査結果を発表、情報交換を行う。 	<p>検索方法について効率的に行えるよう適宜指導を行う。</p>
5	<p>シュノーケリングでサンゴを探そう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ウェットスーツ、フィン等シュノーケリング用具を知り、準備を行う。 バディシステムを作りながらインストラクターの指導に従い海洋生物を探す。 見つけた海洋生物についてインストラクターの説明を聞く。 実習終了後、シュノーケリングで見つけた海洋生物について記録をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の安全指導についてインストラクターの補助を行う。 各グループ担当教員は、安全に留意しながら児童とともにシュノーケリングを行う。 児童の記録について巡回指導を行う。
1	<p>【国語「感動を文章で表現しよう」】</p> <ul style="list-style-type: none"> シュノーケリング体験学習時の記録を元に、体験記を制作する。 適宜推敲し、他者に自信の感動が適切に伝わるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習時の様子を想起しやすいよう、記録画像等を提示する。 書き上げた作文を読み返し、より適切な表現がないか考えさせ、推敲を促す。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・安全にシュノーケリング体験学習が行えるよう、シュノーケリングの基礎知識を学ぶ。
- ・黒潮の特性について自身の目で確かめるとともに、多様な生態系についての理解を深める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>シュノーケリングでサンゴを探そう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェットスーツ、フィン等シュノーケリング用具の扱い方を知り、準備を行う。 <p>反応：慣れない用具に戸惑う児童が多いが、落ち着いて行動し確実に使用法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バディシステムを作りながらインストラクターの指導に従い海洋生物を探す。 ・インストラクターの指示で、サンゴや熱帯性の海水魚を観察したが、6年生は2回目となるため余裕が感じられより細かな点まで観察ができた <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた海洋生物についてインストラクターの説明を聞く。 <p>反応：海面では詳しい説明は受けられなかったが、種名を覚えてもらい記憶していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習終了後、シュノーケリングで見つけた海洋生物について記録をとる。 <p>反応：5年生は、普段は見ることがない視点での観察に感動していた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に最大限留意し、全児童の装備をインストラクターとともに確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮しながら、海洋生物の観察を行う児童の補助を行う。 ・水中ビデオカメラ、デジタルカメラで観察の様子や海洋生物を記録する。 <ul style="list-style-type: none"> ・適切に記録をとるよう適宜指導を行う。 <p>【評価】 海洋生物について丁寧に記述しているか。</p>

3. 今回の活動の自己評価

串本町という本校児童の居住地からそれほど遠くない地域での活動であったが黒潮の影響で海中の様相も違い、黒潮が与える影響の大きさを実感する体験学習となった。サンゴを始めとする多様な生態系は、児童の感性に訴えかけるものが大きく、自然と生命の素晴らしさや環境保全に対する意識を高めるには十分なものであった。活動内容としては比較的単純な構成となるが、安全面や天候など配慮すべき条件が多く今年度の実施にも様々な困難に直面した。しかし、二カ年連続で行うことで児童の実習スキルも向上し、学習効果もあげることができた。

4. 今後の課題

学習効果という観点からは評価は高いが、対費用効果という点で今後検討する余地がある。また、今年度は2度の延期措置を執って実施にこぎ着けたが、天候に左右される部分が大きく計画的な学習を行うという点で安定性に欠ける部分が課題といえる。また、マリンレジャーを産業とする視点で捉え今後社会科での学習にも発展させてゆきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。